

雑誌・広報委員会

委員長 京谷 知明（堺フェニックス）

【活動基本方針】

“ロータリーはクラブに始まりクラブに終わる”との趣旨のもと、従来から広く深く活動している広報活動を更につぶさに社会に広めると共に、社会からの理解と支援を頂きながら、ロータリアンとしての自覚をもって、一層地区内クラブ活動の雑誌広報委員会の活性化をサポートしたいと思います。

【活動計画】

① 地区情報の活性化（品位、品格、楽しくをモットー）

ロータリークラブは異業種交流最大のクラブ組織であることの認識とその特徴の活用を図る。

地区内の“楽しく元気のある例会”の紹介、地区会議や行事、地区大会・国際大会への参加を奨励し、ロータリーの心を学び育む情報の活性化を支援する。

② 広報（クラブ内、外、特にマスコミとのコミュニケーション）

地区内クラブへの情報提供努め、地域社会へ向けての広報活動、スピーディーにタイミングよく実施し、ガバナー月信、会員の義務であるロータリーの友の購読への関心を高める。

マスメディアとの連携、依頼と懇談会や委員長会議を開催し、地区内での各奉仕プログラムのPRや記念行事などの広報案内に努める。

③ RI 広報補助とロータリーの記念日 2月23日

RI 広報補助を利用し、日本の東西の玄関口である日本最大の羽田空港（2750 地区）と関西国際空港（2640 地区）の両空港においてロータリー広報活動を計画。

両空港は年間1億人を超える航空旅客が利用する空港であります。その旅客の多くは、ロータリー活動に関心を寄せる、あるいはロータリアンになる潜在的可能性の有する実業家、ビジネスマン、医師、弁護士、教育者等であり、その他、政、財、学界関係者、学生、若年層や女性の旅行者などの人々が含まれております。また、キャンペーン広告の期間は、会計年度末、学年度末の直前であり、旅客数が増大する時期に当たっています。これらの人々に対し、奉仕を通じて世界平和の推進に貢献している国際ロータリーの存在と、その活動を意識付けることに大きな効果が得られ、会員の増強に結びつくものと考えます。

また、併せてロータリーの記念日に当たる2013年2月23日には、関西空港においてロータリーの活動を知っていただくための、広報イベントを開催する予定です。

④ ソーシャルネットワークのロータリアン親睦グループ

ソーシャルネットワーク Facebook ページを活用の検討。

Facebook なら無制限の大勢の人とつながり、クラブの公共イメージ向上や入会者探しに大いに役立つ他、いち早くロータリー情報を共有する事が出来るので、試験的に実施したい。